

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2018 年 8 月 10 日作成

<p>研究課題名</p>	<p>特定大規模施設における特発性大腿骨頭壊死症（ONFH）の記述疫学に関する研究（「ONFH 定点モニタリングシステム」）</p>
<p>研究の対象</p>	<p>対象となる方は、1997 年 1 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の期間に、当院の整形外科で特発性大腿骨頭壊死症と診断された方、他院で特発性大腿骨頭壊死症と診断後に当該機関を受診された方、特発性大腿骨頭壊死症により当該機関で手術を受けられた方です。</p>
<p>研究目的 ・方法</p>	<p>厚生労働省研究班では、「特発性大腿骨頭壊死症の記述疫学に関する研究（定点モニタリングシステム）」を実施しております。病気の情報を収集することにより、得られた成果を、予防・診断・治療などに役立てたいと考えております。</p>
<p>研究期間</p>	<p>西暦 2018 年 9 月 7 日 ～ 西暦 2025 年 3 月 31 日</p>
<p>研究に用いる 試料・情報の 種類</p>	<p>あなたの病気に関する診療情報（カルテに記載されている検査結果など）を、本調査のために使用させていただきます。 あなた個人に、お電話などで直接問い合わせることは一切ありません。 調査は、あなたの主治医が、カルテに記載されている検査結果などを、所定の調査票に記入することにより行います。</p> <p>① 新患症例 患者 ID あるいはカルテ番号、性、生年月、確定診断日、発症日、確定診断時の検査所見および病型・病期分類、大腿骨以外の骨壊死の有無、ステロイド全身投与歴（対象疾患、期間・最高投与量・パルス療法有無など）、臓器移植歴、習慣飲酒歴、喫煙歴など</p> <p>② 手術症例 患者 ID あるいはカルテ番号、性、確定診断日、手術日、術直前の病型・病期分類、術式、過去の手術施行の有無と術式など</p>
<p>外部への 試料・情報の 提供</p>	<p>上記の情報を記載した調査票を、研究責任機関である大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学（責任者：福島若葉）へ郵送します。研究責任機関では提供を受けた情報をデータベース化し、分析します。また研究責任機関は、データベース化した情報を下記の共同研究機関のうちデータ提供を受ける機関（計 3 機関 4 講座）にも提供しますが、その際はデータにパスワードをかけ、追跡可能な郵送手段で輸送します。提供を受けたそれらの機関でもデータ分析が行われます。</p>

# 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

<b>外部からの 試料・情報の 取得と保管</b>	外部からの試料・情報の取得は行いません。
<b>研究組織</b>	<p>【研究代表者】 大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学 福島若葉</p> <p>【研究事務局】 大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学 福島若葉、伊藤一弥</p> <p>【共同研究機関：データ提供を受ける機関と責任者】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大阪大学大学院医学系研究科 運動器医工学治療学寄付講座 菅野伸彦</li><li>・大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学整形外科学 坂井孝司</li><li>・名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻運動・形態外科学整形外科学 関泰輔</li><li>・千葉大学大学院医学研究院 整形外科学 中村順一</li></ul> <p>【その他の共同研究機関】 横浜市立大学附属病院 整形外科 稲葉裕 その他 30 施設</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）稲葉 裕 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-781-7922</p>	